

作成 令和2年11月5日  
摂津市議会議員 松本暁彦

令和2年第3回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和2年11月2日～  
議事録（抜粋）

3 産業のまち摂津でのビジネスサポートセンターの必要性について

○松本議員

3 産業のまち摂津でのビジネスサポートセンターの必要性についてですが、コロナ禍での本市中小企業の現状をどう捉えているのかお聞かせください。

(略※)

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

「コロナ禍での本市中小企業の現状」についてのご質問にお答えいたします。

内閣府は、8月17日に、今年4月から6月期の国内総生産（GDP）の1次速報値を発表し、成長率のマイナス幅が年率換算で、27.8%減で、リーマン・ショック時の2009年1月から3月期の17.8%を上回り、比較可能な1980年以降で最大で、コロナ危機が国内経済に与えた打撃がいかに大きいかが浮き彫りになりました。

一方で、7月から9月期については、民間調査会社の多くは、1年ぶりのプラス成長を見込んでいますが、現況は、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加傾向にあるため、「国内の小売り・娯楽施設の回復は頭打ちとなっている。消費の回復力は脆弱でV字回復への期待は薄い」と指摘しております。

こうした日本国内全体の状況下において、ものづくり産業集積地の本市においては、中小の事業所はより大きな影響を受けていると想定されます。また、本市の中小企業においては、多種多様な製品の下請けを担っており、発注元の経済活動の状況に応じて、同一職種でも大きく影響に差が出ている状況となっております。

(略※)

○村上議長

松本議員

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

次にビジネスサポートセンターについてですが、本市中小企業の巡る厳しい環境は理解しました。

そのような状況の中で、経営改善への取組み・支援が非常に重要になっています。そこで経営改善支援について、ニーズ・必要性はどのようなものかお聞かせ下さい。

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

新型コロナウイルスの収束や国内外経済の影響の大きさについて極めて不確実性が高いことから、中小企業事業者の方々にとりましては、ウィズコロナ・アフターコロナの経済活動が求められております。このため議員ご指摘のように、経営改善支援への取組みの重要性が以前より増加していると考えております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

経営改善への重要性が高いことは理解しました。これまで中小企業の課題であるイノベーションや事業承継問題を解決するための伴走型相談支援の必要性を議論して参りました。

今こそ経営改善支援、即ち伴走型相談支援を強化するためにビジネスサポートセンターを設置すべきと考えますが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

ウィズコロナ・アフターコロナに対応します経済活動が求められる中で、経営改善支援の強化の必要性は、非常に高まっております。特に、伴走型相談支援のような個々の現状に合わせて身近に寄り添う丁寧な相談が有効であり、改めてビジネスサポートセンターの必要性が高まっていると考えております。

○村上議長

松本議員。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○松本議員

必要性の認識は一致するものと理解しました。

さて、昨年視察した福知山市のビジネスサポートセンターでは、予算は約3千万と多額で、コロナ禍の厳しい財政状況を踏まえ、本市では独自のビジネスサポートセンターの構築が必要です。

それには商工会との連携が不可欠ですが、どうお考えかお聞かせ下さい。

○村上議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

ビジネスサポートセンターの構築につきましては、従前から経営指導を行っております摂津市商工会との連携は、不可欠であると考えております。

本市独自のビジネスサポートセンターを構築するには、商工会で行っている従前からの経営指導に加えまして、商工会の会員の有無に左右されない市が委託する相談体制を構築する必要があります。そのような方向性を持つことで、相談の幅ができ充実した相談体制であるものと考えております。

○村上議長

松本議員。

○松本議員

産業のまちとして、コロナ禍を克服するための拠点を商工会と連携して開設すべきと考えます。

最後に市長に産業のまち摂津としてのコロナ禍での中小企業支援について包括的に、お考えをお聞かせ下さい。

○村上議長

市長

○森山市長

松本議員さんの質問にお答え致します。私よく言っていることですがけれども、摂津市の夜間人口から昼間の、昼間人口へのアップ率は大阪府下でも2番目でございます。よく府下きっての産業都市の一つと言っておりますけれども、その由縁でもあろうかと思えます。

それだけに、商業の振興策、産業の振興策これは大切な取り組みだと思えます。た

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

だ、摂津市のような10万人未満の基礎自治体で、あれもします、これもしますとか何もかもという分けには参りません。そういう意味でご指摘のように、商工会との連携、これをより密にして、今日までも摂津独自の融資施策等々と様々な取り組みをして参りましたけども、ご指摘のようなサポートセンター等々と、その実現性に向けて、1+1を3にも、4にもしていきたいと思っております。

それからコロナ禍での対策として、摂津市では、思い出しますが、2月3日に一早く対策本部を立ち上げました。まず、最初、何をしようかと、どうすべきかと、いうことを考えました。この街、産業都市として、はばからないわけであります。一方でまた、弱い立場の人もたくさん頑張っておられる、そういうことにまず手を付けようということで、小規模な小売店の皆さん、一方では、ひとり親家庭等ですね、皆さんにですね、まず何か支援しようという方策を打ち出しました。これは府下でも先進的な取り組みとしてですね、一歩リードした取り組みかなと思っております。

あのう、その後、国やそして大阪府は非常に色んな手厚い施策をどんどん打ち出してくれたと思います。これは非常にありがたいことでもあります。

ただ、どうしても大規模になりますと、遅い、分かりにくい、粗削りになってしまふという意味で、せっかくの制度があるのにあちこちで、ブーイングが起こってしまふ、そういう状況があちこちで見られました。この制度があっても、その恩恵にあずかれないといえますか、そういった立場の方も各所でですね色んな声を耳にすることになります。そういう意味で、我々基礎自治体としてできること、それはそういった漏れ落ちると言いますか、隙間になってしまう、そういったところにですね、より目を届かさなければならぬとの思いで、今まで、様々に取り組んできたところでございます。

今後でもですね、そういった心の、といえますか魂の入った取り組みをしっかりと参りたいと思っております。

ただ、まあ支援策というのは、給付型も大切ではありますが、それはいつまでも給付型、給付型では解決に至りません。やっぱり、根本的な解決策になるような施策をですね、時間をかけてでもしっかりとまたこれも探していきたいと思っております。以上です。

## ○村上議長

松本議員。

## ○松本議員

ありがとうございます。これまでの本市のコロナ対策の中小企業支援を高く評価致します。

引き続き、コロナ禍の厳しい経営環境の中、積極的な中小企業支援を行うよう要望致します。特にビジネスサポートセンターはコロナ克服のための政策であります。企

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

業の存続発展は雇用と納税を生み出します。市税にも反映し、まちづくりに大きく寄与します。是非、ご検討頂ければと思います。

(音声データ等より作成)

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 コロナ禍でのインフルエンザ流行期に備えた医療提供体制の確保について
- 2 学力課題の解決につながる主体的に学習に取り組む態度を育み支える教育施策について
- 3 産業のまち摂津でのビジネスサポートセンターの必要性について**
- 4 消防力充実と広域化の展望について
- 5 健都の発展と健康寿命延伸の市民への普及について